

2020
6
No.185

 広報

なか



手洗い上手にできました！

新しい市の指定文化財

を紹介します

歴史民俗資料館 ☎297・0080

子持勾玉(地天館跡出土)

第11号 令和2年3月24日指定

菅谷市毛線街路整備事業に先立ち、平成26年に地天館跡の発掘調査が実施され、多数の遺構・遺物が検出されました。今回、第8号建物跡から出土した子持勾玉が、有形文化財考古資料・第11号に指定されました。建物跡の時期は出土土器から5世紀後半(古墳時代中期)と考えられ、子持勾玉も同時期と推定されます。

子持勾玉とは、大型の勾玉の背・腹・側面などに小型の勾玉状の突起(子)を付けたものです。子持勾玉にはひもを通す穴が穿孔されていて首から下げて用いる装飾品に見えますが、実際には祭祀や儀式の際に使われた祭祀遺物と考えられています。子の数は、両側面に各3か所、背に3か所の計9か所で、腹には付いていません。勾玉の石質は滑石片岩で、その色調などが畿内・三輪山周辺出土の勾玉と類似しており、畿内から当地に搬入された可能性が高いと指摘されています。勾玉の全長は6.6cm、重さは64gです。



※その他、市の指定文化財については、市ホームページをご覧ください。

楽しい那珂市を目指して



175



根本 佳織 さん (26歳) 戸

私は、現在城里町のゴルフ場で働きながら、「カミスガプロジェクト」のボランティアを行っています。

カミスガプロジェクトを知ったのは、前職のメディア関係の仕事でカミスガプロジェクト理事のかたがたにお世話になったことからです。一人ひとりが違う仕事をしている傍らで、カミスガプロジェクトの運営をしていることを知り驚きました。とても楽しそうに運営をしていたことと、「私も何か一緒にやってみたい!」という気持ちがボランティアを始めるきっかけとなりました。

日々活動している理事や事務のかたの少しでも助けになればと、各種イベントには必ず参加しています。イベント当日は、朝の会場設営や日中のインフォメーション、見回り、最後の撤収までをスタッフとして行っています。ボランティアをやって一番うれしいのは「いろいろな人とつながることができること」です。スタッフはもちろん、出店者や遊びに来てくれたかたなど、職種や年齢に関係なく幅広い交流が図れることは、とてもよい刺激になります。

今後は、各種イベントをとおして「楽しい那珂市」になったらいいなと思っています。今後は、パワフルなカミスガプロジェクトの先輩がたを見習って、自分でも何か新しい企画運営に挑戦していきたいです。一緒にボランティアをしてくれる仲間も募集していますので、ぜひカミスガプロジェクトのイベントにお越しください。